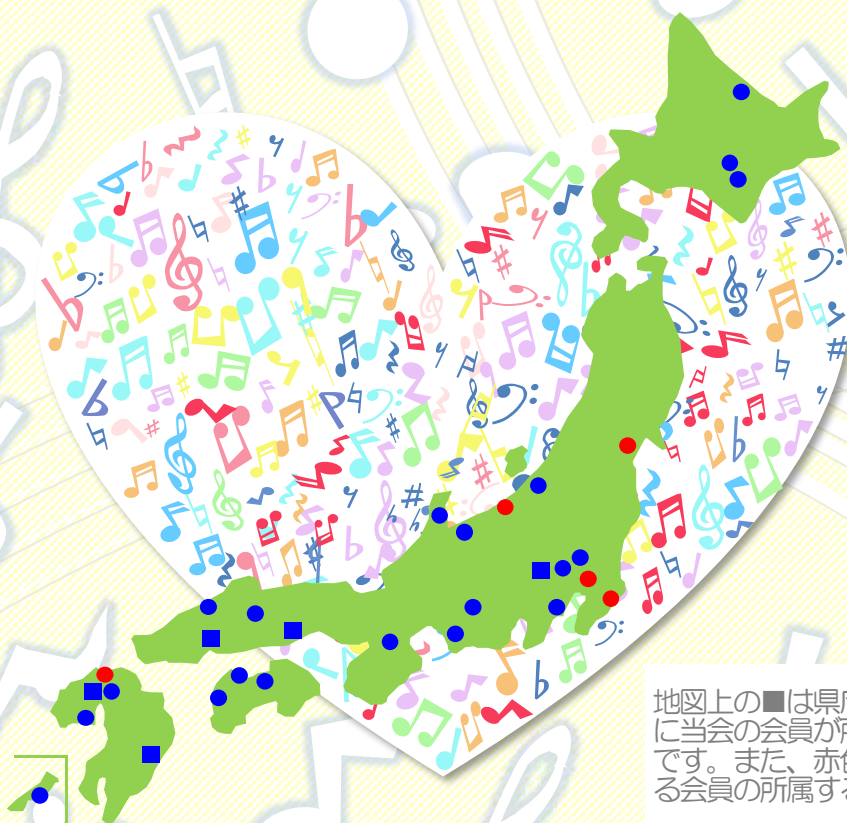


2018 復興応援コンサート

～音楽で癒しや安らぎを、私たちは皆様の心の復興を応援します～

実施報告書 II



地図上の■は県庁、●は市町村に当会の会員が所属する自治体です。また、赤色は今回出演する会員の所属する自治体です。

In 仙台市
青葉区

11月23日(金)13:30～
仙台市通町市営住宅 集会所

In 気仙沼市

11月24日(土)13:30～
南郷コミュニティセンター

In 南三陸
ホテル観洋

11月23日(金)20:10～
南三陸ホテル観洋 5階ロビー

In 仙台市
宮城野区

11月25日(日)10:00～
田子西市営住宅 集会所

In 南三陸町

11月24日(土)10:00～
戸倉復興住宅 集会所

各地の自治体職員有志によるコンサートの会

概要

「各地の自治体職員有志によるコンサートの会(以下『コンサートの会』と言います。)」は、復興応援コンサート活動の前身である「福岡市職員音楽会実行委員会(以下『福岡市職員音楽会』と言います。)」において平成24年から東日本大震災の被災地を訪問して開催してきました復興応援コンサートを平成29年度からも引き続き開催するため、“音楽で癒しや安らぎを、私たちは皆様の心の復興を応援します”をコンセプトに、各地の自治体職員のアマチュア音楽愛好家に出演をお誘いして「コンサートの会」を平成29年4月に結成しました(現在「コンサートの会」の会員は北海道から沖縄まで30の県庁・市町村の職員54名)。

当会では、平成30年11月に東日本大震災の被災者の皆様に音楽を楽しんでいただくと共に、私たちのできる音楽で「少しでも何かのお役に立ちたい」「私たちは忘れません」の思いを込めて、仙台市青葉区・南三陸町・気仙沼市・仙台市宮城野区の復興公営住宅集会所や南三陸ホテル観洋様において5つの市町村の15名で「復興応援コンサート2018」を開催しました。

1 日目	11月23日(金)	9:00~12:00	練習会 日立システムズホール仙台	昼食	(11m) 4.2km 0円	13:30~15:00	(演奏) 仙台市青葉区通 町市営住宅	15:30	仙台市	(2h14m) 83.6km 1,080円	19:00	南三陸町	ホテル	20:10~21:00	(演奏) 南三陸ホテル観 洋	21:00~	夕食					
2 日目	11月24日(土)	8:00~10:00	語り部 ツアー	ホテル	10:00~11:30	(演奏) 南三陸町 戸倉復興住宅	12:00	南三陸町	(51m) 36.0km 0円	昼食	13:00	気仙沼市	(演奏) 気仙沼市 南郷コミュニティ センター	13:30~15:00	15:30	気仙沼市	(2h26m) 92.2km 1080円	18:00	仙台市	交流会	18:30~	ホテル
3 日目	11月25日(日)	9:30	宮城野 区	ホテル	10:00~11:30	(演奏) 仙台市宮城野区 田子西市営住宅	12:00	お茶会	(19m) 9.8km 0円	解散												

プログラム ※会場により曲目を変更

- ♪『アラジン』よりフレンド・ライク・ミー
／作曲：アラン・メンケン
- ♪栄光の架橋／作詞・作曲：北川悠仁
- ♪情熱大陸／作曲：葉加瀬太郎
- ♪いつも何度でも／作詞：覚和歌子 作曲：木村弓
- ♪『ディベルティメントNo.1』よりメヌエット
／作曲：モーツァルト
- ♪千の風になって／作曲：荒井満
- ♪NHK大河ドラマ「西郷どん」より「西郷どんメインテーマ」
／作曲：富貴晴美
- ♪風笛／作曲：大島ミチル
- ♪パッヘルベルのカノン／作曲：パッヘルベル
- ♪茶色の小瓶／アメリカ民謡
- ♪G線上のアリア／作曲：J.S.バッハ
- ♪「となりのトトロ」より「さんぽ」
／作詞:中川李枝子 作曲:久石譲
- ♪青葉城恋唄／作詞：岩間船一 作曲：さとう宗幸
- ♪花は咲く／作詞：岩井俊二 作曲：菅野よう子
- ♪ふるさと／作詞：高野辰之 作曲：岡野貞一

出演者・スタッフ

- 宮城県仙台市
伊勢(フルート)
竹中(オーボエ)
奈須野(司会)
- 千葉県千葉市
土屋(クラリネット)
森山(クラリネット)
吉野(バスクラリネット)
大山(ホルン)
園部(トランペット)
佐藤(トランペット)
鈴木(ユーフォニアム・ピアノ)
- 千葉県一宮町
遠藤(コントラバス・司会)
- 新潟県糸魚川市
磯野(フルート・ピッコロ)
- 福岡県福岡市
井料田(フルート)
下川(ピアノ)
- 賛助出演
吉野(クラリネット)

■お問合せ先

各地の自治体職員有志によるコンサートの会
代表 井料田(イリョウタ) Tel090-9585-1807
※平日は12:00~13:00及び17:30~にお問い合わせいたします。
ホームページ: <http://concertnokai.rdy.jp/>



本コンサートの活動資金につきまして紳貴廊様(福岡市中央区西中洲2-9 Tel092-741-9675)に全面的にご協力をいただきました。福岡(博多)にお越しの際は是非こせ来店ください。

平成30年11月23日(金) 13:30~
仙台市通町市営住宅 集会所 (仙台市青葉区通町1丁目6番10号)
ご協力：仙台市青葉区まちづくり推進課ふるさと支援担当様)



平成30年11月23日(金) 20:10~
南三陸ホテル観洋 5階ロビー (南三陸町志津川黒崎99-17)
ご協力：南三陸ホテル観洋様



平成30年11月24日(土) 10:00～
戸倉復興住宅集会所 (南三陸町 戸倉字宇津野50-17)
ご協力：(社)南三陸町社会福祉協議会 戸倉復興住宅高齢者相談室様



平成30年11月24日(土)13:30~
南郷コミュニティセンター(気仙沼市南郷25-1)
ご協力:(一社)ボランティアステーションin気仙沼様・南郷地区自治会様



平成30年11月25日(金) 10:00~
 田子西市営住宅 集会所 (仙台市宮城野区田子西1丁目11番地)
 ご協力: 田子西町内会 会長 川名様



事前打ち合わせ・練習会等

- ♪平成30年10月18日(木)千葉市内で千葉市の吉野さん・園部さん・森山さん・鈴木さん，一宮町の遠藤さんと井料田で打ち合わせ兼交流会を開催しました。①～②
- ♪平成30年10月19日(金)会員第1号の藤沢市の田崎さんとお会いしました。③
- ♪平成30年10月20日(土)埼玉県さいたま市で糸魚川市の磯野さん，上尾市の荒井さん，白岡市の高橋さん，福岡市の井料田と練習会や交流会を開催しました。④～⑦
- ♪平成30年11月22日(木)仙台市に出発前に福岡市の下川さんと井料田で練習しました。⑧



平成30年11月23日(金)練習会

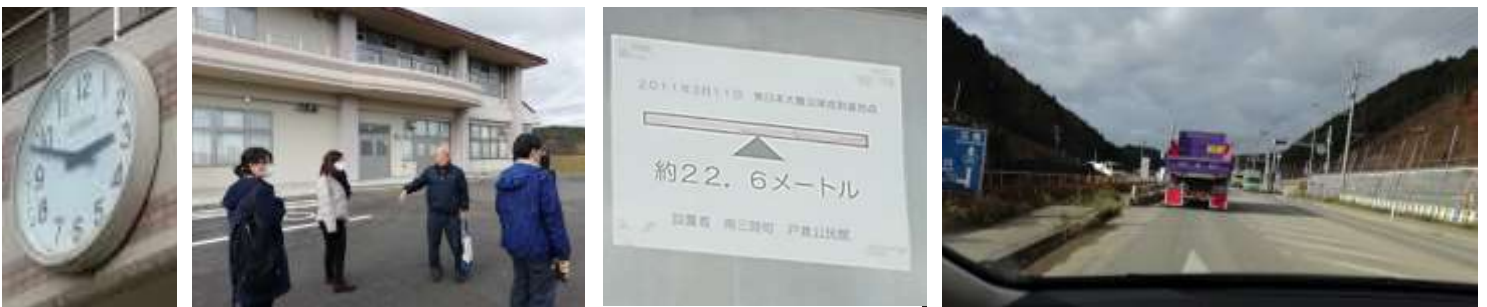
午前中に仙台市内の「日立システムズホール仙台」で練習会を開催しました。。



平成30年11月24日(土)南三陸町語り部ツアー

南三陸町の元中学校校長や教育長を務められ勝倉彌司夫様に手作りの資料をお持ちいただき南三陸町の各所をご案内いただき、震災当時や現在の課題などのお話しをお聞きすることができました。ご案内いただいた元戸倉中学校校舎の時計は震災の時刻で時計が止まっていて、窓ガラスには津波の到達した高さ22.6mの掲示がありました。

勝倉様への返礼として参加者のそれぞれの地元の銘菓・名産などを持ち寄りお贈りしました。



11月24日(土)交流会

仙台市内の郷土料理のお店で出演者による交流会を開催しました。せり鍋、牡蠣や地酒などを堪能しました。最後のデザートは“ずんだ餅”をいただきました。交流会をお世話いただきました仙台市の伊勢さんありがとうございました。



(寄稿)平成30年11月の復興応援コンサート2018に苦言を呈す

今回の「復興応援コンサートin南三陸町」の前に南三陸町内を語り部としてご案内いただきました勝倉様に本報告書の一稿をお送りしてご感想などの寄稿をお願いしたところ、次のお手紙をいただきました。

お書きいただきました内容は当会の活動にとって私たちの演奏を被災者の皆様にお聴きいただくだけでなく、参加者自身が真摯に受け止め、肝に銘じるべきことだと思います。

「各地の自治体職員有志によるコンサートの会」の会員の皆様、明けましておめでとうございます。みちのく、南三陸町にも本格的な冬が訪れ、雪は少ないのですが、朝夕の寒さは厳しい今日この頃です。さて、昨年11月に仙台市、気仙沼市、南三陸町で開催された「復興応援コンサート2018」の実施報告書を代表の井料田充さんから送っていただきました。

まず感じたことは、さすが全国各地の自治体で勤務なさっている方々の「報告書」だなと感じながら隅々まで拝読させて頂きました。

編集の仕方、皆さんの写真の表情、各人のコメントを読ませて頂き、さすがと感動しました。

小生のつたない案内にもお礼のごあいさつを頂きありがとうございました。

小生も250年以上続く旧家で、昭和12年には町の大火で焼失し、昭和35年にはチリ地震津波で半壊、今回の東日本大震災では全壊しました。失ったものは大きいですが、家族3人の命が助かっただけでも幸いと感じています。

私は常に「1000年に一度と言われている東日本大震災を自分の目で、体で体験できたことが私の人生の宝物です。」と皆さんに話しています。

人生、なぜ自分だけがこんな災害に合うのだろうと「マイナス思考」では暗くなります。いつか必ず幸せな日が来ることを信じ、「プラス思考」でこれからの限られた人生を送ることにしております。

さて、「復興応援コンサート」での被災地訪問は自治体職員である皆様にとって今後の行政を進めて行く上で大変貴重な体験であると思います。

それは直接被災地を訪れ、直接ご自分の目で、体で体験できたことは、今後の皆様のお仕事上必ず役立つと思います。

まず、被災地の様子、災害の恐ろしさ、被災者とのふれ合いによって、防災と減災の必要性、災害時にまず何が必要なのか、何ができるか、被災者どう関わったらよいかなど、コンサートの後での話し合いから収穫できると思います。

生死をさまよった人達とひざを交えての対話は今後必ず役立つと思います。

いろいろと思いつきのままに記しましたが一老人の苦言として参考にして下さい。

全国各地で震災が起こっておりますが、「各地の自治体職員有志によるコンサートの会」の益々のご活躍を祈念しております。

またいつかお会いできることを楽しみにしております。

乱筆乱文にて

代表 井料田 充様 1月11日 勝倉

追伸

南三陸町の今後の課題

- 1, 人口流出への対策
- 2, 就業の機会の確保
- 3, 逃避、経過の整備
- 4, 避難場所の整備
- 5, コミュニティ作り
- 6, 高齢者や住民の集いの場、機会への対策
- 7, 中高齢者の就業の機会の確保（シルバー人材センターの再建）
- 8, 家族を失った児童生徒への心のケア
- 9, 災害を風化させないための対策
- 10, 全国からの支援に対する感謝の気持ち、人と人との絆の大切さ
- 11, 震災があっても南三陸町の風土、人間性のすばらしさを認識できる町民の育成



勝倉様プロフィール

出版会社に勤務のあと志津川に戻り、社会教育指導主事として働く。その後、社会科の教員となり、志津川小学校、志津川中学校の校長及び南三陸町教育委員会教育長、志津川町のシルバー人材センター理事長を歴任。平成23年春に瑞宝双光章（教育功労）を受章。

(寄稿) 平成30年11月の復興応援コンサート2018に寄せて

この度は素敵なコンサートありがとうございました。
来年の3月で震災から8年が経過致します。
時間の経過と共に、ボランティアさんや支援者が減少・
撤退していく中で、震災の翌年から変わらず来ていただけ
る事大変嬉しく、また、ありがたく思っております。
皆さんで笑顔で歌えたことや、「花は咲く」で思い出し
泣かれた方もおりましたが、最後は良かったと皆笑顔で喜
んでいらっしゃいました。
最後のアンコールは予定外(?)でしたが是非今後も
東北・気仙沼で素敵なコンサートを行ってくだされば幸いです。

この度は本当にありがとうございました！
社ボランティアステーションin気仙沼事務局 畠山様

「復興コンサート2018」お疲れ様でした。
心安らぎ、心温まる楽しい時間をありがとうございます。
住民の皆さんもとても良かった元気がもらえたと話して
いました。

今南三陸町の住民は、あの震災を乗り越え、みんなで繋
がり新たな地域づくりを目指しています。みんなで前を向
き、繋がる勇気を皆さんの心温まる演奏が後押ししてくれ
たことを信じています。

本当に素晴らしいコンサートありがとうございました。
南三陸町社会福祉協議会 戸倉復興住宅高齢者相談室
阿部様・阿部様

田子西町内会の川名です、11月25日に開催された『復興応援コンサート2018』は、井料田さんはじめ、各地の自治
体職員有志の皆様のおかげで温かいご支援に、心から感謝申し上げます。

町内会の皆さんや周辺地域の皆さんにたくさん集まっただけ、楽しい時間を過ごすことができました。
被災から7年が経ちましたが少しずつ前向きに考え、生活していけるようになってきておりますが、その反面まだ問題
を抱えている方もおります、でもこのようなコンサートに参加して少しでも楽しく、また全国から応援していただける
皆さんと交流ができる事は本当に幸せだと、いつも思っております。

1年に1度だけですがこれからも温かい交流ができることを祈っております。
本当にありがとうございました。

田子西町内会 会長 川名様

全国に広がるご縁に感謝！

「5月8日に福岡市天神の屋台「永ちゃん」で名詞交換させていただきました福岡市職員の井料田と申します」
2013年5月10日、井料田さんからの初めてのメール。

2日前、二次会で行った屋台の端っこに座った私の頭上の暖簾をひょいっとめくって入ってこられたのが井料田さん。
音楽好きで話が盛り上がり、とんとん拍子に福岡市職員による東日本大震災復興支援コンサートin仙台の実現となりました。

あれから6年、当初は仮設住宅の集会所だったのが、復興公営住宅へと場所が変わり、その中で、宮城県南部の被災
地である山元町でもコンサートの実施。さらには復興の進捗についても毎年福岡の方々にお伝えしていただいています。

取り組みの中で仙台市青葉区役所、そして田子西復興公営住宅の町内会などのご縁も広がっていきました。
2年前からは仙台市の職員をはじめ、全国の音楽愛好者をも巻き込む「各地の自治体職員有志によるコンサートの
会」を立ち上げた井料田さんの行動力には驚くばかり。宮城県庁でのロビーコンサート、仙台市国際センター駅「青葉
の風テラス」におけるコンサートでの多くの市民の心に響くメロディ。全国各地のアーティストが音楽を通して一体化
することってすごい！とあらためて感服しています。

暖簾のご縁。点が線となり面となった。毎年楽しみにしている市民の皆様とともに、どんなご縁が広がるんだろうと
ワクワク。また仙台でお待ちしております！
樋口様

満月の夜のコンサート こんにちは、むっちゃんです(*^)

昨日、去年よりも数日遅い初雪を観測した南三陸町。夜になると、月が綺麗に輝いていました。
平安時代、藤原道長が「この世をば我が世とぞ思ふ望月の欠けたることもなしと思へば」と詠んでからちょう1000
年の満月だったみたいですね。とても美しいお月様でした。

そんな昨日、5階ロビーにて各地の自治体職員有志による復興応援コンサートが開かれました。
こちらのコンサートの会は、東日本大震災の被災地での復興応援コンサートなどを開催するため、全国の自治体職員
のアマチュア音楽愛好家に参加を募って昨年4月に結成されたそうです。

フルートやクラリネット、ホルンやトランペットなどの素敵な音色に導かれロビーにはたくさんのお客様が。

「栄光の架け橋」「いつも何度でも」「花は咲く」など口ずさめる曲を演奏していただきました。
私も学生の頃は吹奏楽部でフルートを担当していたので久々に演奏したくなっちゃいました(´▽`)

各地の自治体職員有志によるコンサートの会の皆さま、お忙しい中、お越し頂きましてありがとうございました！
またのご来館を心よりお待ちしております(*´ロ`*)

「ときめきピチピチだより ホテル観洋スタッフの楽しいブログ」より

(寄稿) 平成30年11月の復興応援コンサート2018に参加して

東日本大震災の被災地を回る「復興応援コンサート2018」が無事終了しました。参加された皆さま、大変お疲れ様でした。また、参加が叶わなかった皆さま、陰ながら応援していただきありがとうございました。

今年は演奏だけでなく、南三陸町の御年85才になられる元教育長さんの案内のもと震災当時の様子や復興の進捗状況等のお話を伺う機会をつくっていただきました。同じ県内に住んでいても、なかなか現地を訪れることもままならず、当事者の方のお話を聞くこともなかったため、とても貴重な経験となりました。

演奏はもう言うことなしですね。特に最後のステージとなった田子西復興公営住宅での演奏は、ご来場の方たちの全員合唱も加わり、この3日間での思いも重なって目頭が熱くなりました。私たちの音楽はきっと被災された方々の心を温かくしたことでしょう。皆さんと共に演奏できたこと、そしてこの会の活動に参加できていることに感謝です。

次は糸魚川市でとのお話もありました。またお会いできればと思います。

仙台市 伊勢

コンサートに参加されたみなさん、大変お疲れ様でした。そして、コンサート開催にご協力いただきましたみなさま、誠にありがとうございました。

会の代表井料田さんとのお付き合いも4年目になります。1年に1回しかお会いしないのに、古くからの知り合いのような気がするの、私だけでしょうか。

東日本大震災からまもなく8年が経とうとしています。青葉区の復興公営住宅は入居から4年目が過ぎたところです。単独で自治会を結成したり、近隣町内会に加入したりと組織としてのコミュニティ形成はひと段落していますが、入居者の高齢化の問題や心の復興など課題はまだ残されています。

各住宅では、サロン活動やイベントを通じ、交流活動を進めていますが、参加するのは同じ顔ぶればかりで、「向こう三軒両隣」本当の意味でのコミュニティづくりはまだまだこれからということも多いのが現状です。

そんな中、この復興応援コンサートで音楽を聴くこと、歌うことで少しでも心の癒しになればという思いで毎年お手伝いさせていただいています。

今年は特にハードスケジュールだったようですが、これからは機会があれば、ぜひ、お手伝いさせていただきたいと思います。

みなさん、懲りずにまたお越しくださいね。また、いつの日かお会いしましょう！

仙台市 奈須野

今回、各会場での演奏に加え、南三陸町では勝倉様による語り部ツアーにも参加させていただき、それぞれの場所での経験が深く心に刻まれた訪問となりました。

語り部ツアーでは、実際の場所を訪問し、生の声を聞かせていただいたことで、以前に何冊か読んだ震災関連の本の内容と、伺ったお話が交錯して、胸が締め付けられるような気持ちでいっぱいになりました。

震災発生直後からほぼ不眠不休で医療に従事した病院のかた、安置所で検死を担当した医師のかた、取材のため何日間も滞在した記者のかた、それぞれの立場からの発信内容や、子供たちが書いた詩集など、改めて思い出されます。

各地での演奏は、会場の皆様一緒に歌ってくださり、特に各演奏会の後半では、会場にいる全員との一体感を強く感じました。中には静かに涙を流されている方もいらして、それぞれお辛いことを乗り越えて、今この場所にいらっしゃるのだということを感じました。

同じ経験をしていない自分が、痛みや悲しみを共有することはできないでしょう。ですが、音楽を通して寄り添い、たとえひと時でも安らぎと心に暖かいものを感じていただけたら幸いです。少しでも、復興に向かって前進している方々へのエールとなることを願って、今後もコンサートの会へ参加したいと思います。

千葉市 鈴木

この復興応援コンサートも、今回で2度目の参加になりました。

前回に引き続き、この活動に参加できることをうれしく思うとともに、自分ができることを今一度考えるきっかけとなっております。

昨年の私は、建物や道路の舗装されている様子を見て、復興が進んでいるものだと思っていました。しかし今年、震災後初めて実際に南三陸と気仙沼を訪れ、未だ瓦礫の残る道や震災後そのまま残る建物を目の当たりにしました。被災し、集合住宅で暮らしている方は7年間、我慢を強いられている状況です。私たちの演奏に涙を流す方もいました。

まだまだ復興は終わっていません。私たちに今できることは、被災地を忘れないことだと感じます。私はこれからもこの活動を通して被災地を訪れ続け、少しでも心に寄り添うことができるよう考えていきたいと思っています。また、この輪が少しでも広がっていけるように、私が感じたことや現状を、周囲の人にも伝えていきたいと思っています。

全国から同じ志を持って集まった人たちとの演奏は、とても魅力的で感慨深く、演奏中に感極まってしまう瞬間もありました。音楽が導いてくれてつながったこの絆や、被災地と結ばれたこのご縁を大切にしながら、今後もこの素晴らしい活動に関わっていけたらと思います。

千葉県一宮町 遠藤

(寄稿)平成30年11月の復興応援コンサート2018に参加して

昨年10月宮城県庁での県民ロビーコンサートは、北陸地方に台風が接近した影響で急きょ参加できなくなり、井料田代表はじめ、皆さまにご迷惑をおかけしました。

今年は、その分も挽回すべく満を持して参加し、微力ながら被災者の皆さまに音楽を通じた心の支援に資することができたのではないかと思いますし、何より自分自身が、参加された自治体職員の皆さまと多種多様なアンサンブルを満喫させていただきましたことに、厚くお礼申し上げます。

さて、糸魚川市は平成28年12月22日に発生した大火により、150棟の店舗や住宅が燃え、北陸新幹線の駅もある糸魚川駅近くの中心商店街約4hが焼け野原になってしまいました。幸いなことに1人の死者も出ませんでした。今も被災者はもとより、市民の心に深い爪痕を残しています。

現在、にぎわいのあるまちづくりに向け復興が進められている中、井料田代表から、来年、糸魚川市での「各地の自治体職員有志によるコンサートの会」主催の「復興応援コンサート」開催のお話があり、今後、準備に関わっていただければと考えています。

ご都合が合いますれば、東京から北陸新幹線で約2時間、大阪から特急と新幹線を乗り継いで約4時間の当市へぜひおいでください。
糸魚川市 磯野

2011年3月11日午後2時46分、そのとき私は大学受験のため母と一緒に新幹線に乗っていました。地震の影響でしばらく運転が見合わせられたもののまもなく再開。ホテルに着いた私達は、テレビをつけて初めてその被害の大きさを知ったのでした。

中でも南三陸町は、昭和35年のチリ地震津波など過去の被災の教訓から、津波の到達地点を知らせる標識や7mの津波に耐え得る防波堤を備え、防災訓練も毎年実施していたそうです。これほど防災意識が高い町でも、想定をはるかに超えた自然の猛威に襲われてしまうことに、私は驚き言葉を失いました。

あれから約7年8ヶ月が経ちました。私は大学を卒業し就職して4年目を迎え、多少の悩みはあっても平穏な毎日を送ることができています。一方被災地では、大規模な工事が続いており、未だ多くの方が復興住宅で生活されています。

被災地の方々は私たちを温かく迎え入れ、音楽を通じて安らぎの時間を一緒に作り上げてくださいました。しかし笑顔の中にもときより見せる涙に、普段表に出せない胸の痛みが垣間見えました。大切な人やふるさととの突然の別れ、度重なるコミュニティの移動、なかなか進まない町の復興…多くの苦しみや悲しみを抱えながらも、自分の中で折り合いをつけ、みんなで力を合わせて前を向こうと頑張っておられます。

大切なのは「自分は大丈夫」だと思わず一人ひとりが自分ごととして考えること、私が今回学ばせていただいたことを一人でも多くの方と共有できれば幸いです。
福岡市 下川

平成30年11月の復興応援コンサート2018を終えて

今回は仙台市青葉区・南三陸町・気仙沼市・仙台市宮城野区の復興公営住宅の集会所に加え、南三陸ホテル観洋様において夜20時過ぎから宿泊の皆様を対象としたコンサートを開催しました。

復興公営住宅の集会所での「復興応援コンサート」では昨年同様に”音楽で癒しや安らぎを、私たちは皆様の心の復興を応援します”をコンセプトに、私たちのできる音楽で、被災された皆様に音楽を楽しんでいただくとともに、地域コミュニティーの1つの機会となればと思い開催しました。

一方、南三陸ホテル観洋様ではこれは当会の活動を復興公営住宅にお住まいの皆様だけでなく広く知っていただきたいと開催し、夕食や入浴を済まされた約50名の方に私たちの音楽や活動内容をお聴きいただき、実際に他県の方から「心安らぐ演奏だった。」「素晴らしい活動をされておられますね。これからは頑張ってください。」などのお声をいただきました。

また、今回は南三陸町の元中学校校長・教育長を務められた勝倉彌司夫様に町内をご案内いただき、仙台市宮城野区田子西市営住宅ではコンサート終演後に町内会長の川名ご夫妻を囲んでのお茶会を催していただきました。

当会では私たちの演奏をお届けするだけでなく、現地の状況を実際に目にしたり、地元の方々との交流により震災当時の状況や現在の課題などいろいろな話しをお聞きすることも活動の大事なことだと考えています。南三陸町では未だ大規模な防災工事が行われており、震災のシンボリックな南三陸町旧防災対策庁舎を前に震災当時のお話をお聞きし、最後まで避難を呼びかけられて亡くなられた町役場職員の方を思うと目頭が熱くなります。

さて、日常的に会員間で運営や練習など一緒に活動することも難しく、様々な音楽のジャンル・経験・趣向などを持つ会員で構成する当会ですが、会活動の方向性を模索しながら、新たな会員も確保しつつ、東日本大震災などで被災された方々への復興応援コンサートを軸に、会員の皆様のお力もお借りして、今後も活動を継続・発展していただければと思っています。

最後になりましたが、今年の5つのコンサートに出演いただいた会員の皆様、仕事や家庭の事情で出演できなかったけれど陰ながらご声援いただきました会員の皆様、開催に当たりご尽力いただきました皆様、そしてコンサートに足をお運びいただきお聴きいただきましたご来場の皆様に厚く御礼申し上げます。

各地の自治体職員有志によるコンサートの会 代表 井料田